

情報提供お待ちしております！

きらり
人輝く

4月から岩手日報社久慈支局で記者として働く向山俊恵さん。地元に着き、久慈の情報を全国に発信しています。新聞記者になったきっかけや久慈の印象について聞きました。

■新聞記者になったきっかけは？
就職活動のときにいろいろと考えたのですが、人と話すことが好きで、文書を書くことも苦にはならないので、新聞記者も良いなと思ったのがきっかけです。

■久慈支局に来る前はどんな仕事を？
初任は本所で、整理記者をしていました。記者が書いた記事を紙面に編集する仕事なのですが、デスクワークなので、記者のイメージとは違っていました。いろいろ勉強になりました。基本16時出勤で、日が変わるくらいまでが就業時間。仕事が終わって、飲みに行くと帰ると自宅に新聞が届いている生活を繰り返していました(笑)

■記者になってみて
2年間整理記者として働き、今年から久慈支局で記者をしていま

す。分からないことばかりなので、いろいろと聞いてばかりなのですが、皆さん優しく教えてくれるので、楽しくやらせてもらっています。

■最近、印象的な取材は？
8月末に待浜の民泊に同行させてもらったのですが、台湾の学生が久慈の自然・文化をととても楽しんでいたので印象に残っています。

■久慈の印象は？
海も山もあって、観光資源がととても多いと思います。景色はどこを切り取っても美しいし、ご飯もおいしいものばかりです。

■皆さんにひとこと
皆さんから、地域の情報を提供いただくと、とてもうれしいです。小さなことでもニュースがあれば教えてください！ 未熟者ですが、これからもよろしくお祈りします！



Name
向山 俊恵 さん
むこうやま・としえ(川崎町・24歳)

Profile
岩手日報社 久慈支局 記者
水沢高校 卒業
東北大学 卒業

市民

センター
だより

山形市民
センター
☎ 72-3711



久慈市民おらほーる劇場第12回公演「魚たちの涙」

地域で創る手作りの舞台！

11月24日、25日に第12回おらほーる劇場「魚たちの涙」を上演します。

今年の参加者は、応募のあった小学生から大人までの約40人。8月下旬から稽古を開始しました。稽古は週3回、学校や仕事が終わってから、アンバーホールやおらほーるに集まり、子どもも大人も同じ1人の役者として一緒にアイデアを出し合いながら、楽しく11月の公演に向けて取り組んでいます。

昨年の「鉄滓戦記」では2日間で延べ438人が来場。公演を見に来てくれた皆さんからは「おもしろかった」「とても感動して涙がでました」「次回も楽しみにしています」など感想や激励の言葉を多くいただきました。

今年もたくさんの人に見に来て楽しんでもらいたいと頑張っています。皆さんぜひご来場ください！

- ▶日時…①11月24日(土)18時～②25日(日)14時～
- ▶会場…おらほーる(久慈市山村交流文化センター)
- ▶入場料…【前売り】一般800円(当日1,000円)、高校生以下400円(当日500円)、未就学児無料

ありがとうございました

山形町を中心に活動してきた、地域おこし協力隊を9月末で退任致しました。この仕事は他地域から来て、地域の魅力を見つけ出し、商品開発や情報発信などを通し、地域振興につなげるというものです。自分で考え、作る仕事。これは簡単なことではありません。「何をしたら良いか」「役に立っているのか」と思い悩むことも多々ありました。

そんな中、さまざまなプロジェクトを通し、地元企業や住民と出会い、力を貸してもらい、一緒に取り組んでくれたからこそやってこれました。直接関わってなくても、見守っていてくれ、声を掛けてくれ、応援してくれる人が多くいました。仕事だけでなく、祭りや狩猟など、どこに行っても、温かく仲間に入れてくれ、友人になってくれ、家族になってくれました。仕事も遊びも全力の2年半でした。皆さんに出会えて、本当に感謝しています。今後はこちらで得た貴重な経験を活かして、新しい場所で観光振興の仕事に挑戦したいと思います。本当にありがとうございました！

My life
in Kuji



ロバート・フィリス さん
インディアナ州・23歳 / 夏井小、久喜小、小袖小、宇部中、山形地区の小中学校を担当

I look forward to my future experiences here

こんにちは。新しい外国語指導助手のロビーです。山形地区など、全部で8つの学校を担当します。

私は、久慈市の姉妹都市インディアナ州フランクリン市出身で、今年の5月にフランクリン大学を卒業しました。ハイキング、音楽鑑賞、そしてサッカーをすることが大好きです。卒業してから久慈市に来るまでの2カ月間、パレスチナで英語を教えながら、アラビア語を勉強していました。

久慈市に来ることができて本当にうれしいです。このような、外国で仕事が出来るという素晴らしい機会に恵まれる人はそう多くありません。久慈市は本当に美しい町で、久慈市の皆さんにも、とても親切にいただいています。そして、食べ物も本当においしいです！

これから、久慈市でさまざまな経験をする事を心から楽しみにしています。久慈市の皆さん、私を温かく迎えてくださってありがとうございます。どうぞよろしくお祈りします！

協力隊
つうしん

志水 彩子 さん
(しみず あやこ)
2016年着任。神奈川県小田原市出身。産業建設課に所属し、特産品を生かした商品企画に取り組む。



親愛なる講師仲間と(左奥)

集まれ！
元気の輪

押し花・里の花クラブ

代 表：大橋泰子さん ☎ 53-2580
活 動 日：毎月第2水曜日
活動場所：中央市民センター



アクリルを花瓶柄に細工し、押し花をデザインしたアート

平成13年に結成された「押し花・里の花クラブ」。現在は市内の女性11人で活動しています。

さまざまな種類の押し花や和紙などを使って、絵画のようなアートを制作しています。毎回、八戸から来る先生が教えてくれるので、初心者でも楽しむことができます。押し花の魅力は、5年以上原色を保つところ。色あせてもセピア色になるので、それも味があってきれいです。

メンバーの作品は芸文祭や中央市民センターなどで展示しています。手間は少しかかりますが、完成した時の喜びは一入。みなさんも一緒に作ってみませんか？